

令和3年度 黒のり漁場栄養塩調査表(第15回)

分析日: 令和4年1月19日

漁場名	採水日	採水時刻	水温		比重		DIN($\mu\text{g/L}$)		PO4-P($\mu\text{g/L}$)		
			今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	
				1月12日		1月12日		1月12日		1月12日	
桑名	木曾岬	1月17日	3:00	10.7	7.0	23.7	9.1	157	292	11	11
	伊曾島(新田)	1月17日	6:00	10.2	11.4	22.9	24.4	228	95	9	14
	城南	1月18日	7:00	11.1	12.0	25.2	24.4	87	123	13	10
鈴鹿	下箕田	1月19日	7:30	9.2	10.6	24.4	25.2	11	44	2	7
	浜田	1月18日	8:00	9.0	10.0	25.2	23.7	30	71	4	54
	白子	1月17日	9:30	10.0	10.7	25.2	25.2	12	41	3	8
津市		—	—	—	9.1	—	24.4	—	19	—	3
松阪	東黒部	1月19日	7:00			24.4	22.9	10	103	2	7
伊勢湾	大淀	1月18日				25.2	24.4	11	78	2	6
	今一色(台場)	1月18日				24.4	24.4	11	9	2	3
	今一色(八幡)	1月18日				21.4	22.9	40	168	6	21
鳥羽磯部	桃取町	1月18日	7:00	10.5	10.5	25.2	25.2	10	37	2	7
	※答志上手	1月17日	7:30			26.0		56		7	
	答志上手	1月18日	7:30	8.6	10.5	25.2	25.2	13	17	2	4
	菅島(表)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	菅島(裏)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	安楽島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※DIN…アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の総量

※PO4-P…リン酸態リン

※白抜きは不明、-は欠測

※鳥羽磯部 答志上手は、1月17日、18日に採水された海水の分析結果を示しています。

【ノリの生育条件】

水温	比重	DIN($\mu\text{g/L}$)	PO4-P($\mu\text{g/L}$)
8~13	15~24	100~400	15~50

概況など
白子港の水温と比重は平年並みとなっています。潮位は、潮位図に比べて-16 cm ~ +19 cmで推移しています。
引き続き漁場全域で、大型の植物プランクトン(優占種は、リゾレニア属)が発生しています。本種は低密度でも色落ちの原因となります。今後の動向に気を付けてください。

桑名 栄養塩量は、城南でやや少なくなっています。その他で十分量です。

鈴鹿 栄養塩量は、浜田で少なくなっています。その他で極端に少なくなっています。

中勢 栄養塩量は、東黒部で極端に少なくなっています。

南勢 栄養塩量は、大淀、今一色(台場)で極端に少なくなっています。今一色(八幡)で少なくなっています。

鳥羽 栄養塩量は、極端に少なくなっています。(1月18日採水)

★栄養塩動向調査(PDF版)はインターネット上で見ることもできます。

【パソコンの場合】鈴鹿水産研究室 <http://www.pref.mie.lg.jp/suigi/hp/16172017481.htm>

【携帯電話の場合】 <http://osakana-mie.com/producer/phone.cgi>

スをbookmark登録してご利用頂くか、右側の二次元バーコードを読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

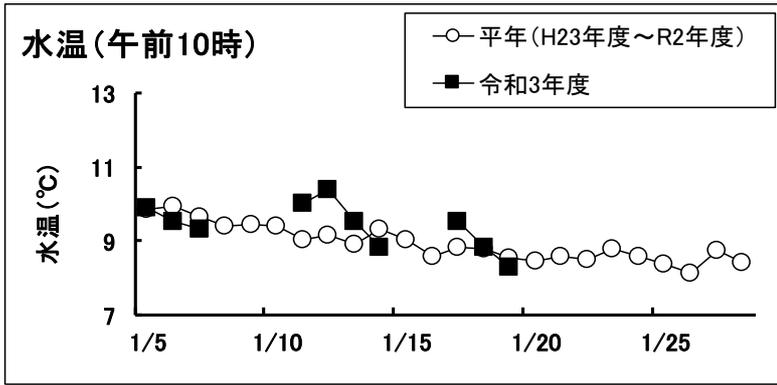
*機種によっては利用できない場合があります。



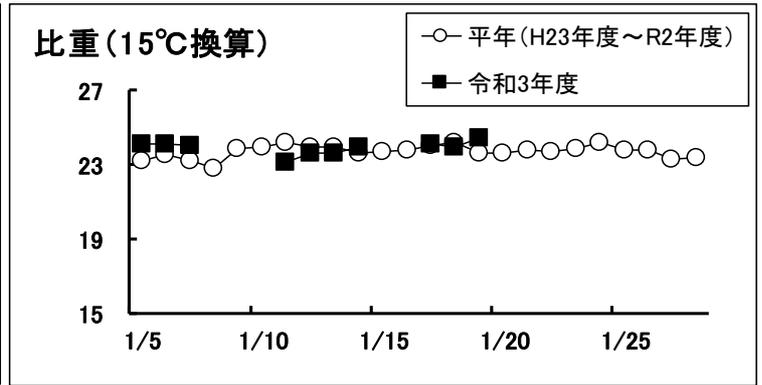
カメラ付携帯電話で

令和3年度 黒のり漁場調査(第15回)

【白子港の水温】



【白子港の比重】



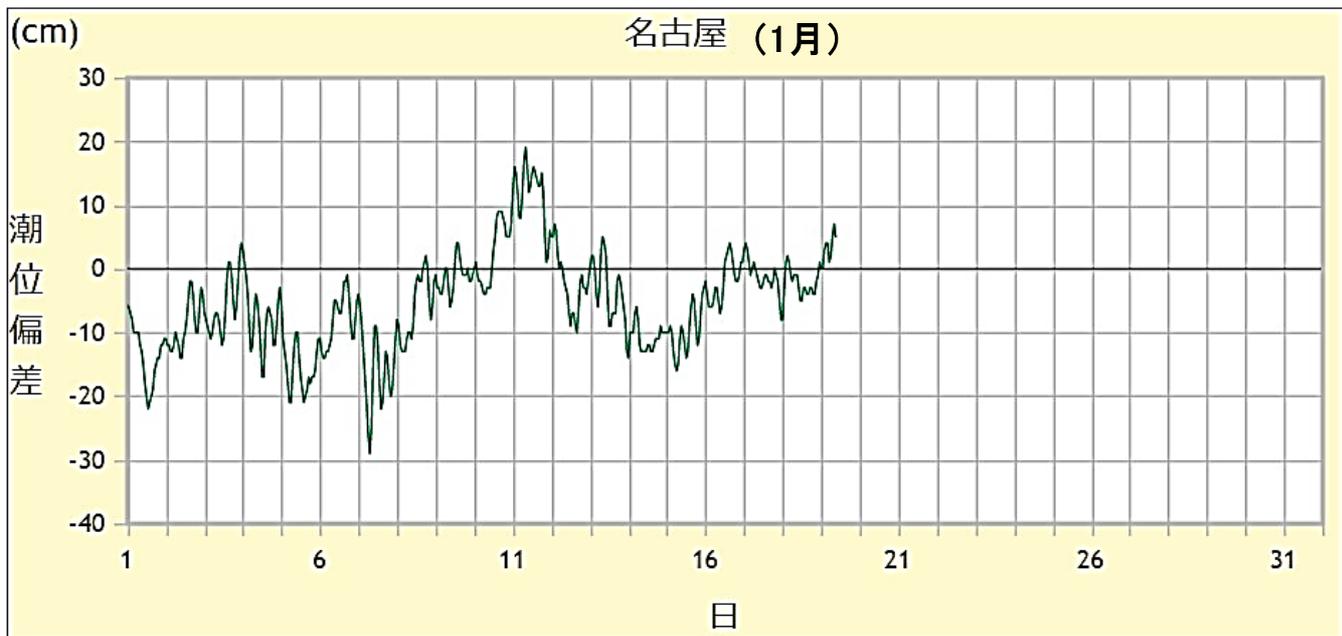
【プランクトン】

採水日	漁協名	発生密度 (cells/mL)
1月17日	木曾岬	340
1月17日	伊曾島(新田)	1,735
1月18日	城南	260
1月19日	下箕田	915
1月18日	鈴鹿市 浜田	390
1月17日	鈴鹿市 白子	895
—	津市	—
1月19日	松阪 東黒部	665

採水日	漁協名	発生密度 (cells/mL)
1月18日	大淀	620
1月18日	今一色(台場)	260
1月18日	今一色(八幡)	35
1月18日	桃取町	470
—	大答志	—
1月18日	答志上手	465
—	菅島 表	—
—	菅島 裏	—
—	安楽島	—

【名古屋港の潮位偏差(速報値)】

(気象庁)



潮位偏差: 計算上の予測潮位と実測潮位との差

プラスの時は実際の潮位が予想潮位より高く、マイナスの時は低いことを示す。